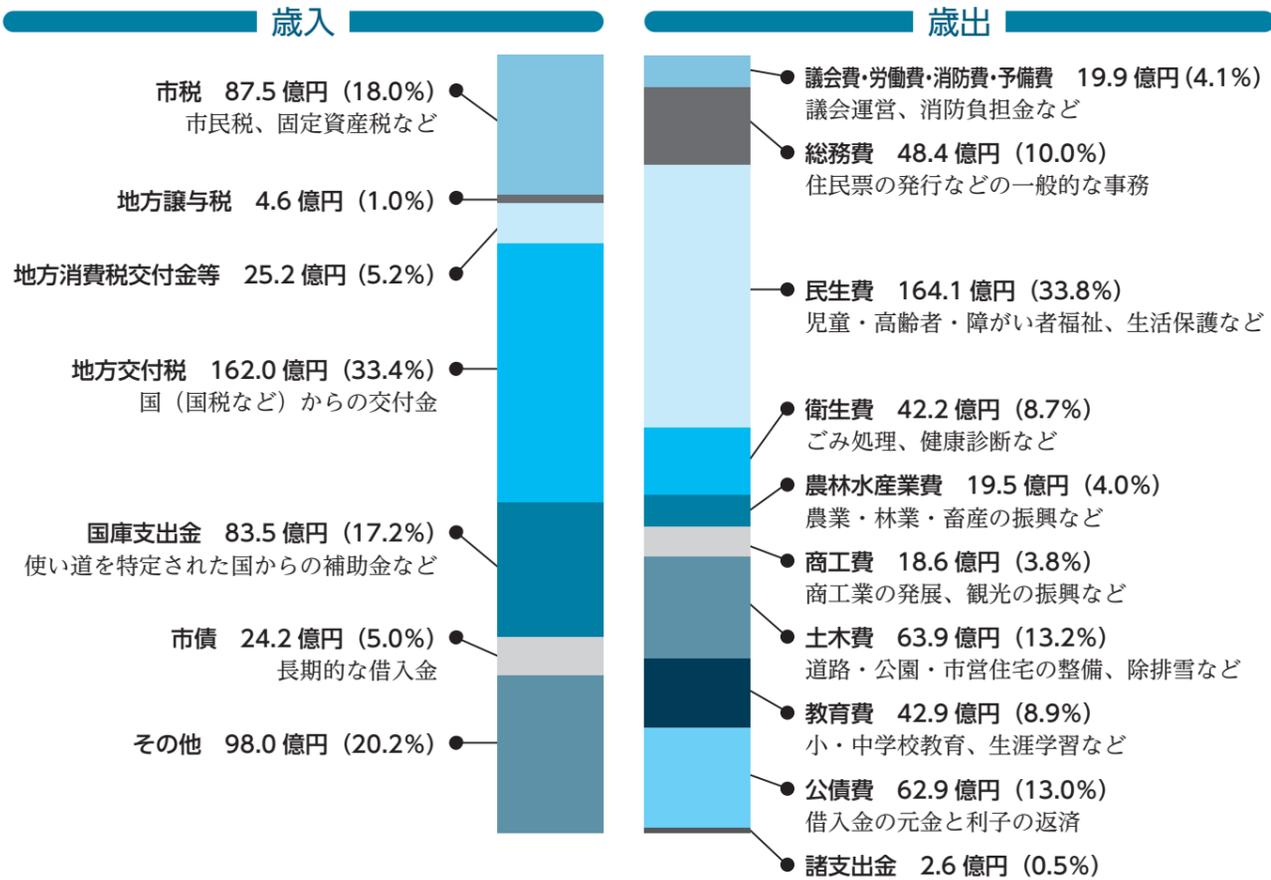


一般会計予算の概要

総額 485 億円 (令和7年度 481 億円 前年度比 4 億円増)



令和8年度予算 重点分野の取り組み

市民生活の質の向上 × 地域経済の活性化

防災・防犯・地域コミュニティ
地域で支え合う安全・安心なまち

健康・福祉・医療
みんなが健康で元気に暮らせるまち

産業経済・交流
活力と賑わいに満ちた魅力あふれるまち

人と緑とまちがつながり
ともに育み未来をつくる
健康経営都市

子ども・子育て・教育・文化
豊かな心と生きる力をはぐくむまち

都市基盤・環境
自然と調和した快適で暮らしやすいまち

市民参画・行財政運営
市民とともに創る持続可能で自立したまち

令和8年度予算総額 1,004 億 3,400 万円

一般会計 485 億円
特別会計 208 億 6,000 万円
企業会計 310 億 7,400 万円

3月2日から市議会第1回定例会が開かれ、松野市長が令和8年度の市政運営の基本姿勢となる市政方針を示しました。

その市政方針と令和8年度予算の概要、総合計画に掲げた6つの重点分野の主な取り組みを紹介します。

問合せ先 企画室 ☎ 35-4834



市政の持続的な発展に向けて

近年、社会全体ではデジタル技術の社会実装が急速に進み、生活の利便性が向上する一方で、全国的な人口減少の進行は依然として厳しく、労働力不足や地域コミュニティの維持といった課題は、より切実なものとなっております。また、世界的な気候変動による自然災害の激甚化や不安定な国際情勢に伴う物価高騰の影響も続いています。

本年、当市は平成18年の合併から20年を迎えます。これまで、農業、商工業、教育、そして医療、福祉など、それぞれの地域が持つ強みを基に「オール岩見沢」チーム岩見沢で、まちづくりを進めてまいりました。しかし、現在の市政を取り巻く環境

は、かつてないほど厳しい局面を迎えています。人口減少や少子高齢化に加え、物価高騰や社会保障費の増大、公共施設の老朽化など、課題は山積しています。厳しい財政状況の中、これらの課題に的確に対応し、持続可能な行政運営を進めるためには、将来を見据えた変革が必要です。

中長期財政計画に基づき、公共施設の統廃合や事務事業のスクラップ・アンド・ビルドなどの行財政改革においては、これまでに厳しい選択が必要となります。

新年度は、新市立病院建設の着実な推進、子ども・子育て支援の更なる充実、デジタル技術を駆使した効率的な市役所づくりなど、住みやすく、暮らしやすい岩見沢を次の世代へ引き継ぐため、市政運営に全力で取り組んでまいります。

また、市民主体による自主自立のまちづくりの実現に向けて、令和10年度からを計画期間とする新しい総合計画の策定に着手します。

市政運営の基本は「市民の皆さまとの信頼」であり、徹底した現場主義の下、市民本位の市政、開かれた市政の実現に努めてまいります。

また、かつてないスピードで社会が変化し、市政を取り巻く環境が一層厳しさを増す中、市役所には、迅速な行動力と変化に対する柔軟な適応力が求められます。そのためには、市民のために働くという共通認識の下、全庁一丸となって取り組んでいくことが重要であり、私自身が先頭に立って市政を着実に進めてまいります。

市民生活の質の向上 × 地域経済の活性化

令和8年度 市政方針と予算

豊かな心と生きる力をはぐくむまち

子育てにやさしいまちづくり

こども家庭センター事業 4,680万円 ほか
こども家庭センターにおいて、保健師や保育士、心理士などの専門スタッフが、育児やこどもの発達などのさまざまな相談に対応するほか、新たに「5歳児健診、や「こども誰でも通園制度」を実施し、切れ目のない支援体制を強化します。



拡充・新規

小学校の給食費を完全無償化

学校給食共同調理所運営事業 7億236万円
国の基準額に市独自の支援を上乗せし、小学校の給食費を完全無償化します。



新規

都市基盤・環境

自然と調和した快適で暮らしやすいまち

計画的なインフラ整備

道路新設改良事業 16億9,290万円 ほか
道路改良や舗装修繕、橋梁の長寿命化のほか、水道・下水道施設などの改築・更新を計画的に進めます。



地域社会 DX・GX の推進

地域情報化推進事業 1,575万円 ほか
地域特性である ICT 環境を最大限に活用し、地域社会 DX を推進するとともに、2050年までに CO2 排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、家庭や公共施設の脱炭素化など、GX の推進に向けた取り組みを進めます。



市民参画・行財政運営

市民とともに創る持続可能で自立したまち

タイムリーで効果的な情報発信

広報活動推進事業（うち広報活動） 6,634万円
広報いわみざわや、コミュニティ FM、街頭放送、ホームページ、SNS、デジタルサイネージなど、さまざまな方法で、効果的に情報をお届けします。



広域連携による地域課題への対応

広域連携促進事業 496万円
南空知圏域の各自自治体との連携の下、圏域における生活機能の確保や地域活力の維持・向上など、地域課題の解決に向け、広域的な視点から各分野における取り組みを推進します。



重点分野の取り組みの一部を紹介します

防災・防犯・地域コミュニティ

地域で支え合う安全・安心なまち

冬の暮らしの安全・安心の確保

除排雪事業 / 高齢者・障がい者の冬の暮らし支援事業 16億7,958万円
道路除排雪をはじめ、福祉施策と連携した豪雪パトロールや情報提供、町会・自治会が実施する除雪ボランティアへの支援、高齢者世帯等の雪下ろしや間口除雪、定期排雪費用の助成など、冬の暮らしの安全・安心の確保・向上を図ります。



消防・救急体制の広域連携

消防通信指令施設整備事業 5億3,593万円
南空知管内5消防本部の消防指令業務を一元化した高機能消防共同指令センターを整備し、火災や救急への迅速な対応を維持しつつ、より効率的な体制づくりを進めます。

拡充

- 岩見沢地区消防事務組合（岩見沢市 / 月形町）
- 南空知消防組合（栗山町 / 長沼町 / 南幌町 / 由仁町）
- 美唄市 ● 三笠市 ● 夕張市

健康・福祉・医療

みんなが健康で元気に暮らせるまち

人もまちも企業も元気で健康なまちづくり

健康経営都市推進事業 1,020万円
市民の健康を「まもる」、「つくる」、「つなぐ」をテーマに、北海道大学 COI-NEXT との連携の下、げんき発見ドックや健康づくりの絵本の配付、母子健康調査など、産学官金が一体となった多様な健康サービスを展開し、市民の皆さんが健康で元気に暮らせる健康経営都市の推進に取り組みます。



安全安心な医療の提供

新市立総合病院建設事業 31億900万円 ほか
北海道中央労災病院との統合により、地域センター病院として良質で安全・安心な医療を引き続き提供するとともに、新病院開院に向けた建設工事を着実に進めます。



産業経済・交流

活力と賑わいに満ちた魅力あふれるまち

岩見沢ワインのブランド力強化

産地づくり推進事業（うち醸造用ぶどう生産拡大推進） 350万円
地域の個性が生む「テロワール」を活用したワイン産地としてのブランド力強化を図る取り組みとして、醸造用ぶどうの生産拡大に向けた支援を行います。



新規

物価高騰に対する支援

プレミアム商品券発行支援事業 2億4,200万円
物価高騰の影響を受けている市民の生活を支援するとともに、地域経済の活性化を図るため、経済団体などと連携し、新たに「プレミアム商品券」を発行します。

商品券

新規

市は、人と緑とまちがつながりともに育み未来をつくる健康経営都市の実現に向けて、「選択と集中」の視点の下、総合計画に掲げる各分野で効果的に予算配分しました。総合戦略に基づく効果的な事業展開による、「市民生活の質の向上」と、「地域経済の活性化」を推進し、将来世代が希望を持って暮らすことができる持続可能なまちづくりに取り組みます。



【YouTube】
市議会の様子



【市ホームページ】
市政方針



ID : 3439
重点分野の取り組み



ID : 3434

詳しい内容は市ホームページ、市議会公式YouTubeをご覧ください

令和8年度の予算は、「選択と集中」の視点に立ち、限られた経営資源の最適配分に努めるとともに、新たに導入した枠配分方式による各部署の裁量と創意工夫の下、事務的経費の削減を図る一方で、子ども・子育て支援をはじめとした、地域の未来に資する事業に対しては、重点的に配分しました。その結果、一般会計の総額は485億円、前年度比0.8%の増、特別会計と企業会計を合わせた総額は1千4億3千400万円、前年度比1.8%の増となりました。厳しい財政状況の中、財政調整基金から、9億7千万円を繰り入れられますが、中長期財政計画の着実な推進に加え、国の経済対策を効果的に活用することにより、将来を見据えたまちづくりと持続可能な財政運営の両立に取り組みます。